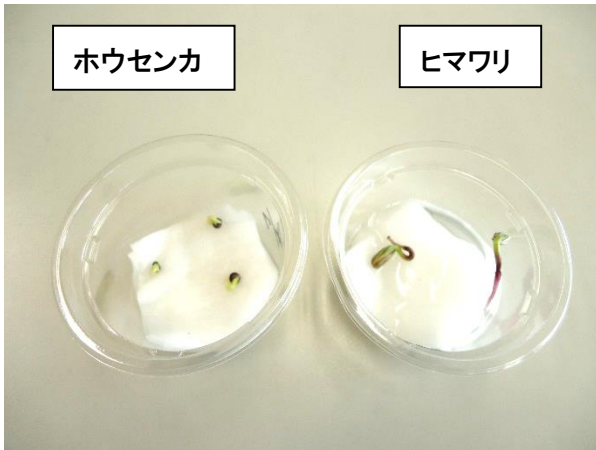


3年生 理科

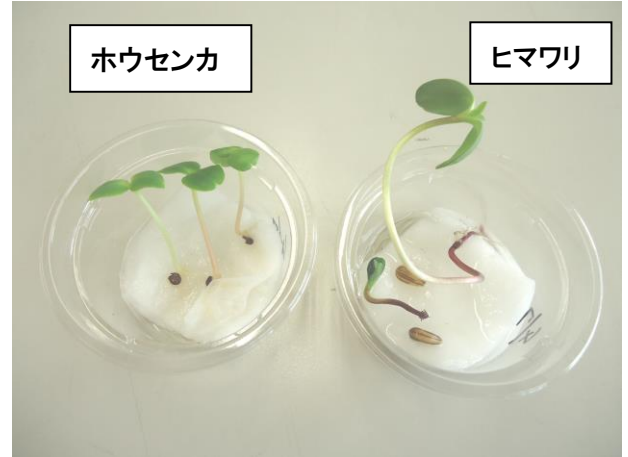
令和2年4月24日(金)

たねをまこうの学習にかんげいすることです。ホウセンカ と ヒマワリ のたねをかんさつします。

4月17日(金)のようす



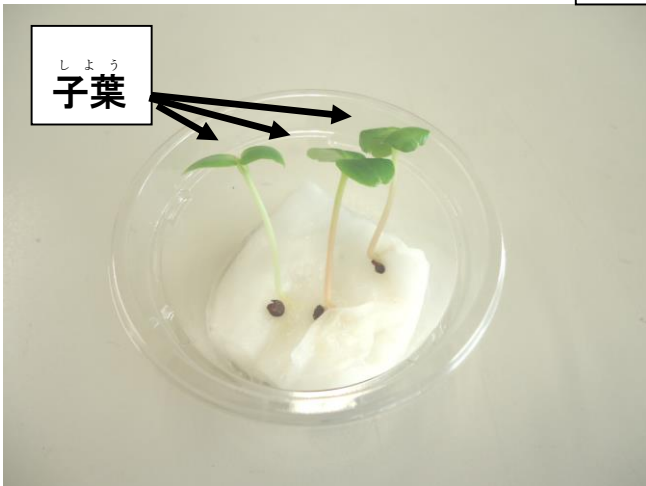
4月24日(金)のようす



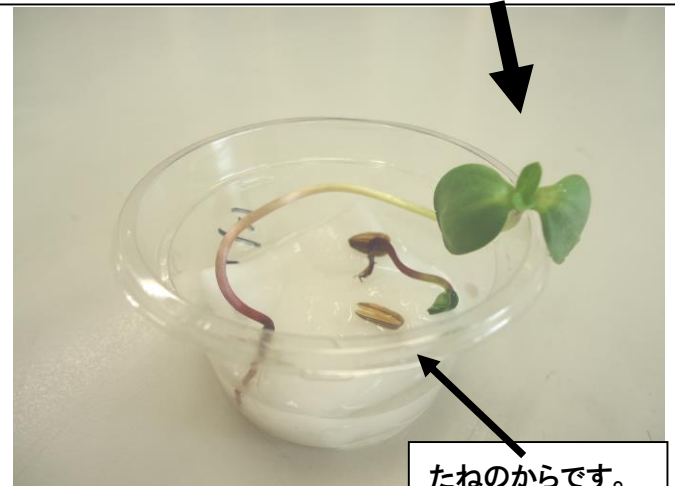
4月24(金)は、ホウセンカもヒマワリも大きくなりました。どちらも、葉がでてきました。はじめに出てきた葉のことを^{しょう}子葉こはといいます。

見やすいように、アップでどうぞ。

^{しょう}2枚の子葉こはの間に新しい葉が1まい生まれています。



ホウセンカ



ヒマワリ

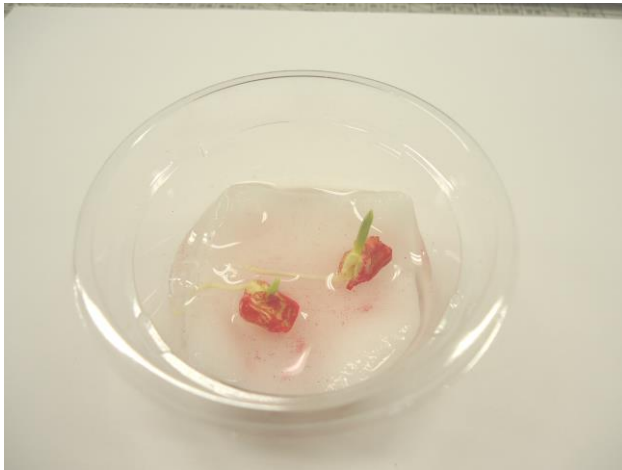
たねのからです。

ホウセンカは、まるい形をした^{しょう}子葉こはです。ヒマワリもまるい形をした^{しょう}子葉こはです。根の近くにたねのからがあります。ヒマワリのたねの中からは^{しょう}子葉こはでした。カップの中にたねがおちていることもわかります。

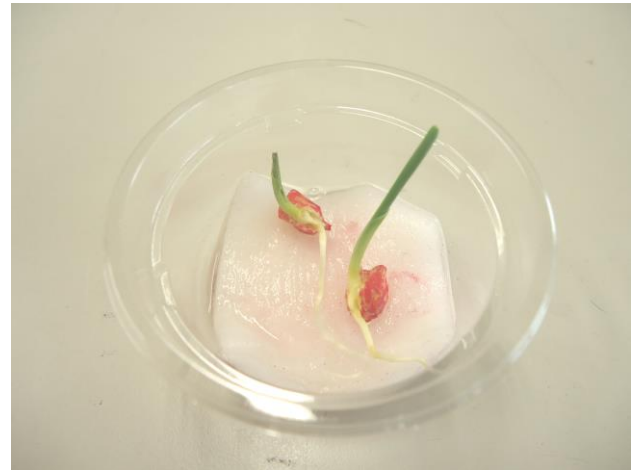


4月17日(金)のしゃしん
たねの中は何がある？

トウモロコシのようすもしょうかいします。



9日目



14日目

トウモロコシも、ホウセンカやヒマワリのように2まいの子葉しょうができるかなと思い、かんさつをつづけました。なんと、トウモロコシの子葉しょうは1まいであることがわかりました。同じ植物なのに、子葉しょうの数がちがうなんてふしぎですね。

理科担当